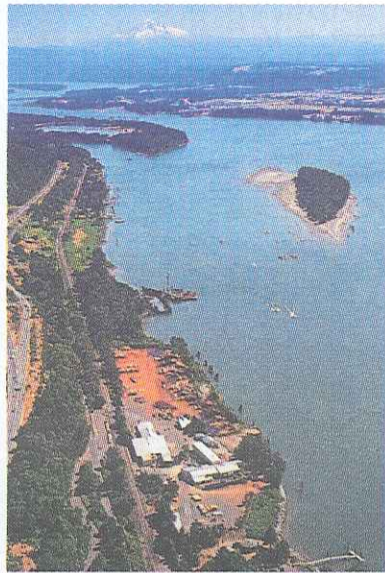


多様性ある3地域から 2×4、在来の両市場に供給



コロンビアスタ遠景

米国北西部沿岸の製材大手、コロンビアピスタ(ワシントン州バンクーバー市、ボブ・ルイス社長)は、米松小角製品の対日出荷でトップシェアの存在を誇る。同社の製材生産量のうち72%が日本向けであり、日本にとってなくてはならない重要な存在だ。また、ルイス社長は親日家としても知られ、毎年12月に実施されている日米林産業会

合では長年、座長の大役も務めている。同社が日本市場に参入して今年で25年目を数える。09年にはインターフォーと事業提携し、コロンビアピスタの日本、アジア向け販売はイン

米松小角で首位の座

製材生産72%が日本向け

角)だ。同社の製材量が年々増加しているのに対し、日本向けの割合は変わっていない。コロンビアピスタは13年度以降も、設備投資を継続する計画で、今春には、プレーナー加工を行

文化がしっかりと根付いている会社だ。モットーは、付加価値化、ブランド化。誰にでも作れるものは作らない方針を貫く。品質に敵しい日本の市場を敬遠する北米の製材企業は少なくないが、

ないかと楽観している」と期待を語る。日本向けソースが年々限定するなかで同社は、日本を知り、日本を愛する大切な事業パートナーの一つとしてその存在感を年々高

岩見支社長は「13年は国産材が供給不足に陥り、改めて外材の供給力が見直されたのではないかと。顧客にとって何よりも大切なのは安定供給。組織改革を機に、一層、日本のお客様に愛される会社づくりを目指して」と話している。

インターフォー(カナダBC州バンクーバー、ダンカン・デイビス社長)は、BC州沿岸、BC州内陸、米国北西部沿岸という異なる3地域から木材製品を輸出する、日本向けシッパーでは唯一の存在だ。そのため提供製品のレンジは広く、2×4工法向けのディメンションランパーと在来向け製材の両方を取り扱うために、両市場への理解も深い。ディメンションランパーの在来タルキ向け用途の開発などにも早くから取り組むなど、日本の市場の特性を研究しつくしたうえで商品の開発の姿勢には常に注目が集まっている。

組織で日本向け供給を安定化 マーケットインの思想取り入れる

インターフォー

インターフォーの日本支社であるインターフォー・ジャパンリミテッド(東京都、岩見尚浩支社長)の日本向け供給品目は、カナダツガ・米松・ウエスタンレッドシダーの製品、SPFディメンション材など。13年からは、SPFよりも強度が

強い米松を素材としたディメンション材の供給も開始した。インターフォーが13年に力を入れて取り組んだのが、主力商品の一つである米松小角製品を安定供給するための体制づくりだ。マーケットの情報

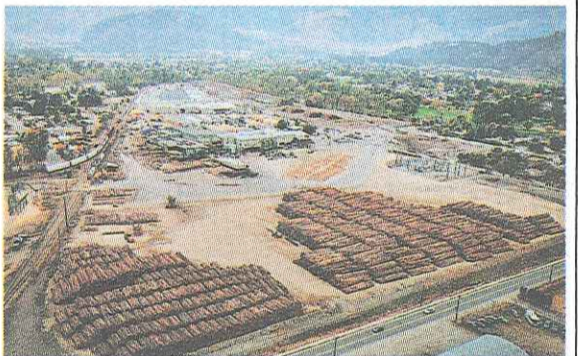
伝え、情報の共有化を図ることで、マーケットに連動してタイムリーに材を供給できるようにすることを目指している。同社は、植林から製材までの全行程をすべて自社で行っているが、これまで、森林管理、原木伐採、製材の各部門が独立して、部署間で情報を共有することが難しかった。「市場に材が足り

この難しい市場にしっかりと向き合い敵しい品質要求にこたえてくれるのは、独自の企業文化を持つ同社ならではの強み。ルイス社長は14年の日本向け出荷について「13年と同程度の出荷を計画している。日本国内での伐採を既に終えているという。日本向け主力工場であるエーコン工場にある程度の規模の原木在庫も置けるようになったことあり、14年度の安定供給にはほぼばどがついている。

また、今のところ丸太の伐採は順調に推移しており、今年度の供給には安定性が期待できそうだ。12年は、夏から秋にかけてファイヤークローシャーが頻発したため伐採が滞り、13年上半期までは、在来向け製品の出荷が思うように進まなかった。だが13年11月末時点では、14年6月までの伐採を既に終えているという。日本向け主力工場であるエーコン工場にある程度の規模の原木在庫も置けるようになったことあり、14年度の安定供給にはほぼばどがついている。

多であるといったマーケットの情報に基づいて製材の供給量や生産品目を調整するというマーケットインの思想がないと、各部署は自分の部署の都合だけを考えた行動をするようになる。その結果、市場が求めている木材の種類・量と、インターフォーの出す木材の種類・量が食い違ってしまう」と岩見支社長は説明する。

そのため今年度から、各部門の統合化を進めてマーケット情報を共有できるようにし、市場のニーズに迅速に的確にこたえられる社内組織とする。



主力日本向け工場の一つ、グランドフォークス工場。SPF、米松のディメンションランパーを製造している

Columbia Vista Corporation
コロンビアピスタは
25年間途切れなく、高品質な木材を安定した供給で日本のみならず、お届けております。

総販売窓口: **インターフォー ジャパン リミテッド**
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目7番7号 笠原ビル6F
Tel. 03-5641-2351 Fax. 03-5641-2383
<http://www.interfor-japan.com>

INTERFOR

INTERFOR

インターフォーはカナダ林業界のリーディングカンパニー。
植林から製材までの一貫生産で安定供給を実現。
環境への責任を果たしながら、最適な製品を提供してまいります。

インターフォー ジャパン リミテッド
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目7番7号 笠原ビル6F
Tel. 03-5641-2351 Fax. 03-5641-2383
<http://www.interfor-japan.com/>